



# 「妊娠と薬外来のご案内」

高知大学医学部附属病院 産科婦人科

「妊娠しているとわからずに薬を飲んでしまった、妊娠を継続しても大丈夫?」「持病で薬を飲んでいるけれどこのまま妊娠して赤ちゃんに影響はないの?」などの妊娠と薬に対しての疑問・不安・悩みの相談のための外来です。

こういった疑問等に答えるための相談窓口として、また我が国における医薬品の妊娠・胎児に対する影響の情報収集を目的として、2005年に厚生労働省の事業として国立成育医療研究センター(東京都)に「妊娠と薬情報センター」が設置されました。その後、妊娠と薬に関する相談がどこでも受けられることができるよう、相談窓口は全国に広がり、高知大学医学部附属病院でも、「妊娠と薬情報センター」の拠点病院として、**2017年4月1日から相談窓口を開設**しました。

妊娠中の方およびこれから妊娠を希望される方に使用薬剤の影響について、専門の医師・薬剤師が、国内外のデータ・資料を基に最新の情報を提供します。

## ◇ 相談日と費用 ◇ ※完全予約制

☆ 外来日：毎週火曜日	☆ 時間：15:00～16:00
☆ 相談費用（自費診療）	8,250円（1回45分まで） 2,750円（以降15分ごとに）

## 相談までの手順

- ①まずは、事前にWeb問診票システムより、お申込み下さい。  
Web問診票システムURL: <https://n-kusuri.ncchd.go.jp/ncchd/login>
- ②お申込み後、妊娠と薬情報センターから相談先などについてのメール連絡が入ります。
- ③届いたメールの内容確認後、高知大学医学部附属病院「妊娠と薬外来」のご予約をお取り下さい。  
連絡先：088-866-5811(代表)
- ④相談日当日は、外来診療棟1階受付 ②番窓口にお越しください。
- ⑤担当医師・薬剤師が説明いたします。

### 【妊娠と薬情報センター】

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 国立成育医療研究センター内

☎ 03-5494-7845

<https://www.ncchd.go.jp/kusuri/>